

72 森林・山村多面的機能発揮対策

【1, 818 (1, 700) 百万円】

対策のポイント

森林・山村の多面的機能の発揮を図るため、地域における自伐林業グループなどの活動組織が実施する森林の保全管理や森林資源の利用等の取組を市町村等の協力を得て支援します。

<背景/課題>

- ・森林・山村の有する多面的機能を発揮するためには、適切な森林整備や計画的な森林資源の利用が不可欠ですが、**林業の不振、山村地域の過疎化・高齢化により森林の手入れを行う地域住民が減少し、適切な森林整備等が行われていない箇所が見られます。**
- ・そのため、地域住民等による**森林の手入れ等の共同活動や将来的に自立的な林業経営を目指す活動への支援を行うことが必要**です。

政策目標

- 自立的に森林整備等の活動を行う団体を2,600団体に増加（平成33年度）
- 各支援メニューごとに設定された森林の多面的機能の発揮に関する目標を達成した活動組織の割合を80%とする（平成33年度）

<主な内容>

1. **森林・山村多面的機能発揮対策交付金** 1, 800 (1, 685) 百万円
地域住民、森林所有者、自伐林家等が協力して行う以下の取組について、地方公共団体による支援のあるものを優先的に支援します。また、採択に当たっては、会費徴収などの財政的な基盤がある団体であることなどを要件とします。

(1) メインメニュー

① 地域連携保全管理活動推進

地域住民、森林所有者、自伐林家等による里山林等の保全・利用のための共同活動。

ア 地域環境保全タイプ

集落周辺の美しい里山林を維持するための景観保全・整備活動、松林の健全性を維持するための保全活動、風倒木や枯損木の除去、集積、処理。

高密度に侵入したモウソウチク等の侵入竹の伐採・除去や利用に向けた取組。

イ 森林資源利用タイプ

集落周辺の里山林に賦存する広葉樹等の森林資源を木質バイオマス、炭焼き、しいたけ原木等及び伝統工芸品原料に活用することを目的とした樹木の伐採、玉伐り、搬出等。

② 自立的経営活動推進（自伐林業グループ活動タイプ）

地域における自伐林業グループなどの活動組織が、将来的に自立的な林業経営を目指して行う森林管理及び資源の利用を図る活動。

(2) サイドメニュー

メインメニューと組み合わせることにより実施が可能。

① 教育・研修活動タイプ

森林環境教育及び森林施業技術の向上に向けた研修活動等。

② 森林機能強化タイプ

事業の円滑な実施や森林の多面的機能の維持・発揮に必要な路網や歩道の補修・機能強化、鳥獣害防止施設の改良・補修活動。

③ 機材及び資材の整備

上記（1）の①、②及び（2）の②の活動の実施に必要な機材及び資材の整備。

事業実施主体：都道府県・市町村・学識経験者・関係団体等から構成される地域協議会、
交付率：定額、1/2、1/3以内
都道府県

[平成30年度予算概算要求の概要]

2. 森林・山村多面的機能発揮対策評価検証事業 18(15)百万円

森林・山村多面的機能発揮対策交付金による活動の成果を評価・検証するとともに、各地域協議会、活動組織を集めた活動内容の報告・意見交換会を開催します。また、活動の成果を評価・検証するためモニタリング調査等を行います。

〔委託費〕
〔委託先：民間団体等〕

[お問い合わせ先：林野庁森林利用課 (03-3502-0048)]

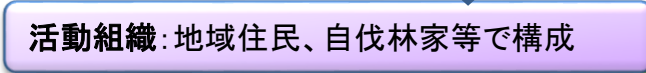
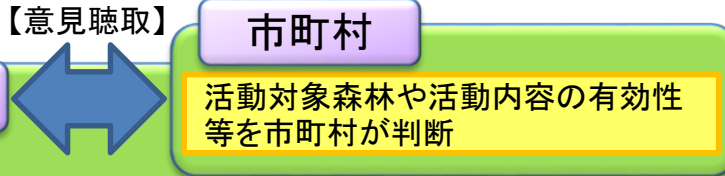
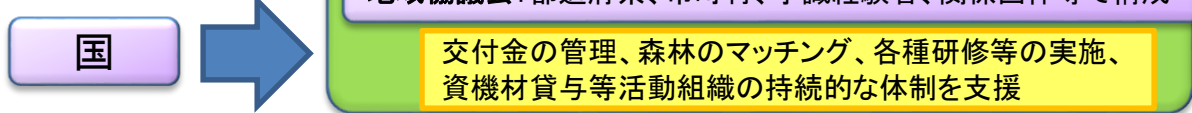
森林・山村多面的機能発揮対策

【平成30年度予算概算要求額 1,818(1,700)百万円】

背景 森林・山村の有する多面的機能の発揮には、適切な森林整備や計画的な森林資源の利用が不可欠だが、林業の不振、山村地域の過疎化・高齢化により森林の手入れを行う地域住民が減少し、適切な森林整備等が行われていない箇所が見られる。

事業 地域住民、森林所有者、自伐林家等が協力して実施する里山林の保全、森林資源の利活用など、以下の取組を支援。
 【 交付率：定額、1/2、1/3以内 】

〔事業の内容〕 【交付金】



【支援のポイント】

- ・所有又は契約等により一定以上の規模・期間にわたり管理する森林において実施
- ・自立的経営に繋がる目標を設定

＜拡充内容＞

- ・林業技術や安全対策の向上のための研修
- ・再生林の低コスト化等のための技術習得 など

支援対象となる活動組織の活動内容例

メインメニュー

地域連携保全管理活動推進

自立的経営活動推進

地域環境保全タイプ



里山林景観を維持するための活動
12万円/ha(16万円/ha)


侵入竹の伐採・除去活動
28.5万円/ha (38万円/ha)

森林資源利用タイプ



しいたけ原木などとして利用するための伐採活動
12万円/ha (16万円/ha)

自伐林業グループ活動タイプ



資源循環に資する経営を目指す活動
12万円/ha (16万円/ha)

サイドメニュー（メインメニューと組み合わせて実施）

- ・教育・研修活動タイプ
森林環境教育の実践
3.8万円/回(5万円/回)：年度内の上限12回
- ・森林機能強化タイプ
路網の補修・機能強化等
800円/m(1000円/m)
- ・活動の実施に必要な機材及び資材の整備
1/2(一部1/3)以内

自ら設定する成果目標に基づき活動組織が事業の自己評価を実施

○地方公共団体による支援(国：地方の割合の目安は3：1)のある活動を優先的に採択
 ※注 ()の単価は、国の交付単価に地方公共団体の支援(1/3)を合わせた場合の単価

